



2021年9月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2021年8月12日

上場会社名 株式会社 アルファクス・フード・システム

上場取引所 東

コード番号 3814 URL <https://www.afs.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田村 隆盛

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員IR・広報室室長 (氏名) 菊本 健司

TEL 0836-39-5151

四半期報告書提出予定日 2021年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期第3四半期の業績(2020年10月1日～2021年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期第3四半期	1,258	29.2	36		110		116	
2020年9月期第3四半期	973	29.9	369		399		616	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年9月期第3四半期	45.93	
2020年9月期第3四半期	250.36	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期第3四半期	2,031	118	5.6	44.07
2020年9月期	2,183	42	2.0	17.33

(参考)自己資本 2021年9月期第3四半期 113百万円 2020年9月期 42百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年9月期		0.00		0.00	0.00
2021年9月期		0.00			
2021年9月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年9月期の業績予想(2020年10月1日～2021年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年9月期の業績見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による影響や半導体不足による製品納品遅延の影響等を踏まえた合理的な業績見通しの算定が困難となったことから、現時点では2021年9月期の業績予想は未定であり、記載しておりません。今後業績予想の開示が可能となった時点で速やかに開示致します。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年9月期3Q	2,728,200 株	2020年9月期	2,513,800 株
期末自己株式数	2021年9月期3Q	50,364 株	2020年9月期	50,300 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年9月期3Q	2,529,036 株	2020年9月期3Q	2,463,500 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあります。国内外の感染拡大防止策を講じ、ワクチン接種を促進する中、回復の動きが期待されております。しかし、今後の感染症拡大状況の変化による世界的な景気の下振れリスクには十分注意が必要であり、先行きが不透明な状況は今なお続いております。

当社の主要販売先である外食市場におきましては、第二波コロナ禍の影響を年末の忘年会にかけて大きく打撃を受け、さらに年明け以降も断続的な緊急事態宣言発出により、当社の顧客先である外食企業は、大変厳しい状況が続いております。

このような環境のもと、当社は、創業時より一貫し、外食企業を中心とした顧客に対し、利益追求のための食材ロス削減を実現する「飲食店経営管理システム(R)」、人件費の最適化や生産性を高めるための勤怠集計管理システム「Timely」を主力に「食材費」・「人件費」の二大原価の透明化を掲げたシステムをASP/パッケージシステムで提供するとともに、業界に特化したPOSシステム、オーダーリングシステム、周辺サービス等を通してトータルソリューションシステムを提供しております。

その結果、当第3四半期累計期間は、当社主要顧客が例年通り年末年始繁忙期によるシステム投資控えである期間であるとともに、緊急事態宣言の影響により厳しい状況下ではあるものの、当初から予定していた納品がほぼ順調に推移したことにより、売上高1,258,150千円(前年同四半期比29.2%増)、営業損失36,006千円(前年同四半期は営業損失369,529千円)、経常損失110,091千円(前年同四半期は経常損失399,280千円)、四半期純損失116,163千円(前年同四半期は四半期純損失616,768千円)と増収かつ損失の減少となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(ASPサービス事業)

当社は、顧客である外食企業に対し、ASPサービス事業を核としてASP/パッケージシステム事業、システム機器事業、周辺サービス事業を一体として提供しております。当事業におきましては、食材の自動発注システムによる効率化や各システムサービスによる自動化の要望から、売上高は1,224,301千円(前年同四半期比31.4%増)となり、セグメント損失は17,288千円(前年同四半期はセグメント損失333,186千円)となりました。

① ASPサービス事業

当事業におきましては、月額サービスの新規計上及び既存顧客へのサービス拡大と、「飲食店経営管理システム(R)」の販売を行った結果、当事業領域の月額サービスは、コロナ禍の影響による月額値引きを受けたことにより、売上高は577,633千円(前年同四半期比9.9%減)となりました。

なお、月額サービス料は、9ヶ月累計で551,488千円(前年同四半期比12.6%減)となりました。

② システム機器事業

当事業におきましては、従来からのPOSシステム、オーダーエントリーシステム及びテーブルオーダーリングシステムや新規事業のロボット販売について、当初から予定していた納品がほぼ順調に推移した結果、売上高は547,676千円(前年同四半期比29.6%増)となりました。

③ 周辺サービス事業

当事業におきましては、提携先製品の販売、機器修理などのインテグレーション、サプライ製品などの販売を行った結果、ソフトウェア製品であるASP/パッケージシステムの販売の増加とともに、売上高は98,991千円(前年同四半期比88.7%増)となりました。

(ホテル関連事業)

当社は、ASP/パッケージシステム事業、システム機器事業、周辺サービス事業のトータルシステムを実施運用するためにナチュラルグリーンパークホテルの管理運営及びレストラン・カフェの運営を行っております。ナチュラルグリーンパークホテルにおいて、自社製品/サービスの実証実験店を兼ね、管理運営しており、自社製品のすべてを同ホテル内に導入稼働し、運営を実践しております。当事業におきましては、売上高は63,527千円(前年同四半期比0.1%増)となり、セグメント損失は18,718千円(前年同四半期はセグメント損失36,343千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、2,031,558千円となり、前事業年度末に比べ151,563千円減少いたしました。これは主に、商品77,799千円、ソフトウェア仮勘定121,019千円などの増加があった一方で、現金及び預金57,491千円、未収還付法人税等109,614千円、ソフトウェア60,295千円の減少などによるものであります。

負債合計は1,913,533千円となり、前事業年度末に比べ226,890千円減少いたしました。これは主に買掛金45,672千円、未払消費税等16,820千円などの増加があった一方で、短期借入金143,262千円、前受金64,906千円、社債31,000千円の減少などによるものであります。

純資産は118,025千円となり、前事業年度末に比べ75,326千円増加いたしました。これは、四半期純損失116,163千円の計上による減少の一方で、新株式の発行に伴う資本金93,711千円、資本剰余金93,711千円の増加などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社はコロナ禍で自動発注システムの稼働時期の延期はあっても、キャンセルは無かった事業環境下で、飲食業界では、人手不足対策システム製品「セルフショット」や、配膳A Iロボット、飲食業界以外でも利用できる商材として除菌A Iロボット、ウイルスゲート・ショットをリリースするなどして、新型コロナウイルス感染症の影響でダメージを受ける当社の主な取引先(飲食業界)へのリスク回避策として推進してまいりました。結果、3度の新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言等がありながらも、2021年9月期第2四半期までは前年比を大きく上回る営業利益で黒字化いたしました。

しかしながら、2021年9月期第3四半期以後においては、商談は進んでいるものの、昨今の半導体不足の影響などから、回避策のA I型ロボット製品・ウイルスゲート・ショットにおいても、納品が延期となっております。また、当社の主な取引先である飲食業界の新型コロナウイルス感染症による、度重なる緊急事態宣言に伴う営業制限下では、月額費用の値引きや納品時期の延期があり、かつ貸倒リスクなども多くなる傾向にあります。

以上のような経済、業界状況であるため、2021年7月15日付「業績予想の修正(未定)に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、現在のところ、合理的に売上高及び利益を想定することが困難であるため、業績予想は未定といたしました。

今後、業績予想の算定が可能となった時点で、速やかにお知らせします。

また、2020年11月27日に発表させていただきました中期経営計画につきましても、前述のような業界経済環境のため、合理的に売上高及び利益を想定することが困難であるため、来期以降の業績目標は未定とし、今後、業績目標の算定が可能となった時点で、速やかにお知らせします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	316,156	258,665
売掛金	66,016	62,264
商品	322,606	400,405
貯蔵品	18,196	23,497
前渡金	61,115	95,587
前払費用	21,544	17,615
短期貸付金	78,600	28,500
未収入金	58,488	47,041
未収還付法人税等	109,614	—
未収消費税等	28,619	—
その他	10,709	14,970
貸倒引当金	△36,403	△73,929
流動資産合計	1,055,264	874,619
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	345,247	331,315
構築物(純額)	13,814	12,652
工具、器具及び備品(純額)	91,035	82,316
土地	130,838	130,838
リース資産(純額)	51,924	41,912
建設仮勘定	395	395
有形固定資産合計	633,255	599,430
無形固定資産		
ソフトウェア	170,136	109,840
ソフトウェア仮勘定	122,503	243,523
電話加入権	2,445	2,445
特許権	393	324
無形固定資産合計	295,478	356,132
投資その他の資産		
投資有価証券	5,565	14,426
関係会社株式	93	93
出資金	10	10
長期前払費用	139,313	143,366
敷金及び保証金	22,438	22,450
長期未収入金	119,066	136,328
その他	26,000	6,000
貸倒引当金	△119,066	△126,107
投資その他の資産合計	193,420	196,567
固定資産合計	1,122,155	1,152,130
繰延資産		
社債発行費	5,702	4,808
繰延資産合計	5,702	4,808
資産合計	2,183,122	2,031,558

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	29,697	75,369
短期借入金	650,000	506,738
1年内償還予定の社債	30,500	41,000
1年内返済予定の長期借入金	144,667	158,245
リース債務	23,725	22,580
未払金	51,192	26,609
未払費用	10,832	7,505
未払法人税等	3,688	10,608
未払消費税等	-	16,820
預り金	10,621	9,395
前受金	139,855	74,949
流動負債合計	1,094,781	949,822
固定負債		
社債	168,500	137,500
長期借入金	805,400	778,146
リース債務	43,055	25,378
退職給付引当金	28,687	20,486
資産除去債務	-	2,200
固定負債合計	1,045,642	963,711
負債合計	2,140,423	1,913,533
純資産の部		
株主資本		
資本金	537,862	631,574
資本剰余金	327,723	421,435
利益剰余金	△785,057	△901,221
自己株式	△37,840	△37,904
株主資本合計	42,687	113,883
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10	87
評価・換算差額等合計	10	87
新株予約権	-	4,053
純資産合計	42,698	118,025
負債純資産合計	2,183,122	2,031,558

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)
売上高	973,558	1,258,150
売上原価	792,444	761,366
売上総利益	181,114	496,783
販売費及び一般管理費	550,643	532,789
営業損失(△)	△369,529	△36,006
営業外収益		
受取利息	10	142
受取配当金	—	60
助成金収入	—	8,416
その他	137	797
営業外収益合計	147	9,416
営業外費用		
支払利息	7,739	12,940
支払保証料	5,185	463
支払補償費	7,127	3,715
支払手数料	898	1,437
株式交付費	—	23,799
貸倒引当金繰入額	8,100	40,249
その他	847	895
営業外費用合計	29,897	83,501
経常損失(△)	△399,280	△110,091
特別損失		
特別調査費用	97,720	—
課徴金	35,770	—
特別損失合計	133,490	—
税引前四半期純損失(△)	△532,770	△110,091
法人税、住民税及び事業税	1,465	6,105
法人税等調整額	82,532	△34
法人税等合計	83,997	6,071
四半期純損失(△)	△616,768	△116,163

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間において、2021年3月19日を払込期日とする第三者割当による新株式の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ50,001千円増加しております。また、新株予約権の権利行使による新株式の発行により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ43,710千円増加しております。

この結果、第3四半期会計期間末において資本金631,574千円、資本剰余金421,435千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期財務諸表計上額(注)
	A S Pサービス事業	ホテル関連事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	931,799	41,758	973,558	-	973,558
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	21,690	21,690	△21,690	-
計	931,799	63,449	995,249	△21,690	973,558
セグメント損失(△)	△333,186	△36,343	△369,529	-	△369,529

(注) セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第3四半期累計期間(自 2020年10月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期財務諸表計上額(注)
	A S Pサービス事業	ホテル関連事業	合計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,224,301	33,848	1,258,150	-	1,258,150
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	29,679	29,679	△29,679	-
計	1,224,301	63,527	1,287,829	△29,679	1,258,150
セグメント損失(△)	△17,288	△18,718	△36,006	-	△36,006

(注) セグメント損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。